小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 来友会	代表者	西座 新二
事業所名	小規模多機能ホーム くすのき	管理者	木本 和紀

法人・ 事業所 の特徴 くすのきでは、利用者に合わせて柔軟にサービスを組み合わせ、支援を行えるよう心がけています。又住み慣れた場所で生活を送っていただくためにはどうすれば良いかを常に考えています。そして当施設を気軽に利用でき、また利用したいと思ってもらえるよう、利用者が利用したい時にお迎えに行き、帰りたい時に送るようにしています。また季節を感じられるよう外出する機会を増やし利用者同士の交流にも勤めています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民•地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計	
山川市有	人	人	3 人	1人	1人	1人	1人	3人	人	9人	

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結 果	意見	今回の改善計画
	同一敷地内に事業所があるため運	軽費老人ホームの職員を会議に参	たくさんのスタッフで検討したの	新型コロナウィルスが 5 類に引き
	営推進会議に多くの職員が順番で	加してもらい日々の生活で困って	が資料を見てわかった。	下げられたこともあり感染症対策
A 事業記点コ製炉の	参加するように調整を行いいろい	いることなどの意見をもらいより	できている点できていない点など	を行いながらも以前のようにレク
A. 事業所自己評価の	ろな意見を聞ける機会を増やす。	良い支援につなげられるようにし	わかりやすく書かれていてよかっ	リエーションを再開していく。
確認		た。	た。	
			感染症対策を行いながらのため、	
			仕方のない部分はある	
	事業所を見学する機会を作り、会	運営推進会議を他の事業所で行う	感染症対策のため仕方がない。	引き続き会議の場所を施設内で行
	議を行っている場所をサロン以外	ことは難しかったが当施設の見学	徐々に機会を増やしていってほし	えるように調整し雰囲気を見る機
B. 事業所の	に設定し雰囲気を見る機会を作	はしていただけた。	V,	会をつくる。
しつらえ・環境	る。		くすのきは木でできていてあった	
			かい雰囲気でよかった。	
	認知症サポーターの受け入れや地	認知症サポーターの交流会に参加	抗原検査は、私たちの2か月に1	地域の催しも徐々に再開していっ
	域の行事に参加する機会を作る。	し来ていただけるよう募集したが	回でも大変なのに辞退されるのは	ているので参加していただけるよ
C. 事業所と地域の		来ていただいたときに高原検査や	仕方がない。	うに調整する。引き続き認知症サ
かかわり		感染症対策のお願いをすると参加	運営推進会議の資料で利用者さん	ポーターを募集し交流を図る。
		を辞退される方が多く、受け入れ	と地域に出られているのは見せて	
		ることが難しかった。	いただいている。	

	外出できない期間が長かった利用	少人数のグループで地域に出かけ	今後は地域の催しも再開している	レクリエーションで催しなどがあ
D. 地域に出向いて	者の方が大半なので、機会を見つ	た。近隣には神社や商店街、駅な	ので参加できるよう頑張っていた	れば参加できるようにし地域に出
本人の暮らしを	けられれば、地域に出向いていく。	どがあり懐かしいと喜んでいただ	だきたい。	ていける環境を作る。
支える取組み		きました。	取り組まれているのは資料を見て	
			わかった。	
	運営推進会議の中で、地域の困り	地域の催しを教えていただいた	今後は地域の催しも再開している	運営推進会議の中で、地域の困り
	ごとなどがあれば検討する。	が新型コロナウィルスの影響で	ので参加できるよう頑張っていた	ごとなどがあれば検討し地域の
E. 運営推進会議を 活かした取組み	運営推進会議の中で、地域の催し	面会制限もしていることから行	だきたい。	催しなどの情報を教えていただ
	などの情報を教えていただく。	うことが難しかった。	取り組まれているのは資料を見て	く。委員との交流を深め、気軽に
	委員との交流を深め、気軽に相談	議題とは別に毎回1つテーマを	わかった。	相談をしやすい施設を目指す。
	をしやすい施設 を目指す。	決め時間に余裕があれば話し合		
		う機会を作った		
	地域との連携を大切にする。	事業所の現状を、運営推進会議を	地域の防災会に参加し避難訓練に	防災、災害対策訓練を実施してい
F. 事業所の 防災・災害対策	防災設備の管理と、安心していた	通して定期的に知っていただく。	も可能な時は参加している。	く。BCP についても会議を開催
	だける情報を関係者に啓発して、	防災会には参加している。		し、日々、防災に努める。
	災害時に頼りにされる事業所を目	災害時の地域の方を受け入れる		
	指す。	体制は整っていて緊急避難所に		
		なっている。災害時、自家発電機		
		で対応できるようにしている。		